



国際植物考古学シンポジウム

稲作の起源とその伝播—植物考古学と遺伝学の視点から

2009年8月30日(日)・31日(月)

総合地球環境学研究所・講演室

8月30日(日) 9:30~17:00

■ セッション1：植物考古学と遺伝学からみる初期稲作の諸問題

ドリアン・フラー(ロンドン大学UCL)、佐藤洋一郎(総合地球環境学研究所)、マイケル・ブルガナン(遺伝生物研究所)

■ セッション2：稲作の起源および野生植物の利用

趙志軍(中国社会科学院)、中村慎一(金沢大学)、アンドリュー・フェアバーン(クイーンズランド大学)

8月31日(月) 9:50~17:00

■ セッション3：東南アジアおよび東アジアへの稲作の伝播

ムクンド・カジャレ(ディームド大学)、マルコ・マデッラ(スペイン科学研究所)、スティーブン・ウェバー(ワシントン州立大学)、武藤千秋(総合地球環境学研究所)、安承模(圓光大学校)

聴講無料

(言語：英語)

8月30日(日)

- 9:30-9:40 **開会の言葉**
立本成文 (総合地球環境学研究所・所長)
- 9:40-10:00 **シンポジウム趣旨説明**
佐藤 洋一郎 (総合地球環境学研究所・副所長)

■ セッション1：植物考古学と遺伝学からみる初期稲作の諸問題

- 10:00-10:40 ドリアン・フラー(ロンドン大学UCL)
「**遺伝学と植物考古学の融合—コメの複雑な歴史を読み解く**」
- 10:40-11:20 佐藤 洋一郎 (総合地球環境学研究所)
「**主要穀物栽培はどのように伝播したのか？—雑草種と野生近縁種の役割**」
- 11:20-12:00 マイケル・ブルガナン (遺伝生物研究所)
「**遺伝学からみたコメの栽培化**」
- 12:00-12:30 「**ディスカッション—遺伝学と植物考古学の融合**」
- 12:30-14:00 昼食

■ セッション2：稲作の起源および野生植物の利用

- 14:00-14:40 趙 志軍 (中国社会科学院)
「**中国稲作起源に関する新しいデータと問題点**」
- 14:40-15:20 中村 慎一 (金沢大学)
「**中国長江下流域におけるコメ栽培の起源**」
- 15:20-16:00 アンドリュー・フェアバーン (クイーンズランド大学)
「**インド太平洋地域における堅果類・果実類の利用システム—メラネシア低地部の事例から**」
- 16:00-16:15 休憩
- 16:15-17:00 「**ディスカッション—初期稲作期における生業形態**」

8月31日(月)

9:50-10:00 シンポジウム2日目に向けて 佐藤 洋一郎

■ セッション3：東南アジアおよび東アジアへの稲作の伝播

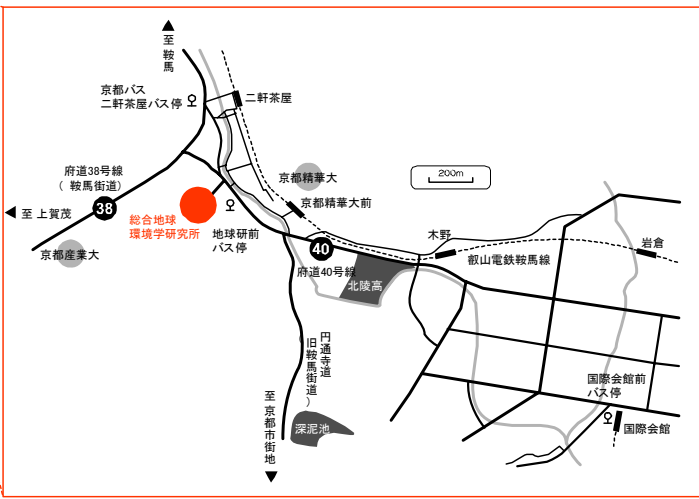
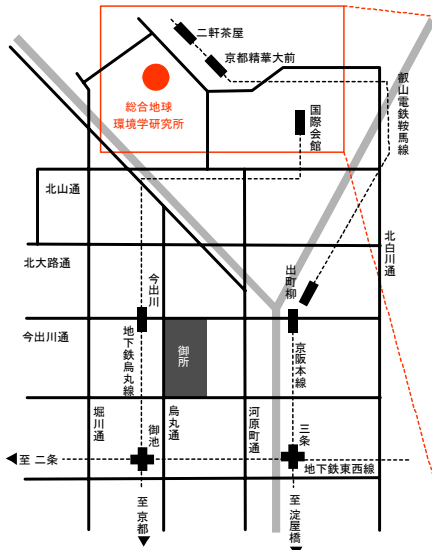
- 10:00-10:40 ムクンド・カジャレ(ディームド大学)
「**インドにおける稲作について**」
- 10:40-11:20 マルコ・マデッラ(スペイン科学研究所)
「**ハラッパ文明におけるコメの社会的な意味**」
- 11:20-11:50 「**ディスカッション—インドの初期稲作について**」
- 11:50-13:30 昼食
- 13:30-14:10 スティーブン・ウェーバー(ワシントン州立大学)
「**コメとミレット—タイ中央部の初期農耕戦略**」
- 14:10-14:50 武藤 千秋(総合地球環境学研究所)
「**モチ性インディカ米の起源—分子遺伝学の見地から**」
- 14:50-15:30 安 承模(圓光大学校)
「**韓国における稲作の起源**」
- 15:30-15:45 休憩
- 15:45-17:00 **全体討論**



総合地球環境学研究所(地球研)
Research Institute for Humanity and Nature (RIHN)
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4

【アクセス】

- JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」より
京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。国際会館駅バスターミナル2番乗場から京都バス40系統(京都産業大学ゆき)もしくは50系統(市原ゆき)にて(約10分)、「地球研前」下車スグ。
 - 京阪「出町柳駅」より
叡山電鉄鞍馬線に乗換え、「京都精華大前」もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。
 - タクシーでお越しの方は
国際会館より府道40号線で二軒茶屋方面へ。
- ※マイカーでのご来場はご遠慮下さい。



お問い合わせ

総合地球環境学研究所(地球研)・佐藤プロジェクト
担当：細谷 葵(9研) / Tel: 075-707-2386 e-mail: Leo_Aoi@chikyu.ac.jp
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project/>